

子育て世帯は燃やせるごみの排出が多い。家庭系有料指定ごみ袋の無料配付や割引販売をしてもらえると助かる。すべてのサイズではなく 20 リットル袋だけでよいと思う。

子どもの頃は意識しなかったが、市外に住むようになって大和市は平坦であることがよくわかった。子どもが小さいので、実家に帰ってくると平坦であることのメリットを痛感する。若い世代だけでなく高齢のかたにとってもメリットなので、このことをもっとアピールしてはどうか。

- ・ 大和東小学校区は住宅開発が盛んで子育て世帯も増えている。低学年の子どもが増加しているが、学校や放課後児童クラブなどが対応しきれていないという声が多い。草柳小は低学年の数がそれほど多くないので、線路を挟むので難しいことは承知しているが、学区の弾力的運用など検討してほしい。
- ・ 草柳小のような地域の見守り（草柳小学校区おかえりなさい運動の会）が、大和東小学校区にもあるとよい。
- ・ 商店街が寂しくなってしまった。地域に根差している個人事業主は、市に協力して地域振興ができると思うので、ぜひ活用してほしい。
- ・ 地域を盛り上げるため、阿波踊りに参加しているが、市内外の広がりが少ないと感じている。阿波踊りは一例だが、市内外への広報、特に SNS にもっと力を入れるとよいのではないか。

市民が市長と会うことは特別なことである。公務多忙であっても出来る限り市民によるイベントに参加する姿勢を今後も続けてほしい。

放課後エンジョイスポーツについて、予算案の否決は残念だったが修正予算案が可決されたので期待している。

市長への手紙は市長がすべて見ているのか。

防災パークのボール遊びエリアについて、小学校高学年の児童が遊んでいると未就学～小学校低学年の児童は入ることがむずかしい。それ以外のエリアでボール遊びが禁止されていることは承知しているが、保護者や地域の人の付き添いがあれば、やわらかいボールで遊べるようにしてはどうか。

自治会に入っていなくても、地域のために何かできないかと考えている人がいる。ボランティアをしたい人と地域を市が結びつけるような仕組みがあるとよいのではないか。

見守りや催事など、子どもを大事にすることが自治会後継者の育成につながる。自治会加入率は下がっているが、ボランティアをやりたい人は一定数いるので、自治会と地域の人を結びつけるマッチングアプリのようなものがあればよいのではないか。

文ヶ岡ちびっこ広場の付近に上下水道を通してほしい。